

Veeam Agent

物理・クラウド マシンを確実にバックアップ

- コンピュータ全体・ボリューム単位・ファイル単位バックアップ/リストア
- pre-freeze/post-thaw静止スクリプト
- データベーストランザクションログのバックアップ*
- Linux用独自スナップショットと変更ブロック追跡(CBT)ドライバ
- アプリケーション対応処理*
- ファイルのインデックス作成
- 永久増分バックアップ
- アクティブ/合成フルバックアップ*

*Veeam Agent for Microsoft Windowsのバックアップでのみ利用可能

モバイルPCからエンタープライズなサーバまで

高速で柔軟なLinuxイメージベースバックアップ



Veeam Agent

Veeam Agent

ワークステーション

Veeam Agent

サーバ



外付けドライブ

ネットワーク共有

Veeamリポジトリ

Veeam Backup & Replication統合

- ライセンス管理
 - 2次バックアップ
 - テープアーカイブ
 - ファイル検索と1クリックリストア
 - アプリケーションアイテム リストア
-
- ActiveDirectory MS SharePoint MS Exchange MS SQL Server Oracle
- 仮想ディスク エクスポート
 - Hyper-VへのインスタントVMリカバリ*
 - Microsoft Azureへのリストア

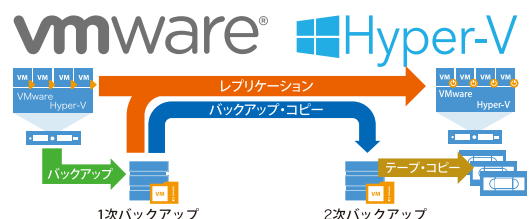


*Veeam Agent for Microsoft Windowsのバックアップでのみ利用可能

Veeam Backup & Replicationとは



Veeam Backup & Replicationは仮想環境に特化し、VMware vSphereとMicrosoft Hyper-V仮想マシンのバックアップとレプリケーションが可能な2in1データ保護ソリューションです。



Veeam Agent for Microsoft Windows



ノートPCなどの保護も簡単・確実

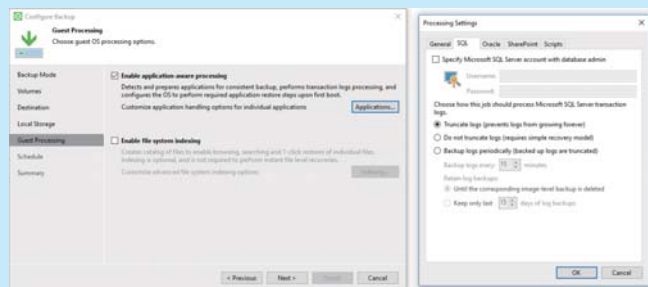
- 自動でバックアップ・ストレージを取り外し、CryptoLockerの脅威から保護
- ストレージが利用できない場合にはローカルキャッシュへバックアップを保存、ストレージに接続すると自動で同期
- APIによるリモートからのエージェント展開や構成

エンタープライズレベルなバックアップとリストアアプリケーションに合わせたバックアップとリストア

- アプリケーション対応処理で整合性を保ったバックアップ
- Oracle、MS SQLのトランザクションログ バックアップ
- カスタムスクリプトによるアプリケーション静止
- アプリケーションのアイテム単位でのリストア

物理から仮想、クラウドへのリストア

- Microsoft Hyper-VのVMとして高速なインスタントVMリカバリ
- Microsoft AzureのVMとして直接リストア



システム要件

ハードウェア

- CPU:x86-64プロセッサ ・メモリ:2GB RAM
- ディスク領域:製品インストールのために150MB
- ネットワーク:1 Mbps以上
※高レイテンシで不安定なWAN回線もサポートしています。
- システムファームウェア:BIOS または UEFI
- ドライブ暗号化:Microsoft BitLocker (任意)

OS

- Microsoft Windows 7 SP1, 8.x, 10 (バージョン10586を含む)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1, 2012, 2012 R2, 2016
※Server Coreインストール、Small Business ServerとServer Essentials、Windows Embedded / Windows IoTはサポートしていません。

ファイルシステム

- FAT, NTFS, ReFS

ソフトウェア

- Microsoft .NET Framework 4.5.2
- Microsoft SQL Server 2012 Management Objects
- Microsoft SQL Server System CLR Types
- Microsoft SQL Server 2012 Express Local DB Edition
※セットアップファイルに含まれ製品インストール時に自動でこれらのソフトウェアもインストールされます。

Veeam Agent for Linux

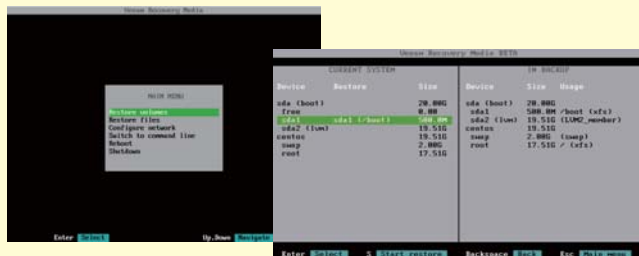


Linux のバックアップを高速・簡単に

- 組み込みのスナップショットと変更ブロック追跡(CBT)ドライバによる高速バックアップ
- コンピュータ全体、ボリューム、ファイル単位のバックアップ
- カスタムスクリプトによるアプリケーション静止
- 使いやすいUIと従来のLinux CLIで利用可能

柔軟な復旧機能

- ベアメタル システム全体を同一または別のハードウェアへリストア
ボリューム 故障したドライブや破損したパーティションをリストア
ファイル 個々のファイルをどのバックアップからでもリストア
- ### 使いやすいブータブル リカバリメディア
- リカバリメディアからボリューム単位、個々のファイルをリストア
 - ネットワークを構成し、ネットワーク共有にあるバックアップを参照
 - 組み込みUIと同様の機能を持つコマンドラインへの切り替え



システム要件

ハードウェア

- CPU:x86-64プロセッサ (i386以降) ・メモリ:1GB RAM
- ディスク領域:製品インストールのために100 MB
- ネットワーク:10 Mbps以上
- システムファームウェア:BIOS または UEFI

OS

Linuxカーネル 2.6.32以降

以下の64と32ビットバージョン両方のディストリビューションをサポート

※Veeam Agent for Linuxの現在のバージョンのリリース前にGAされたバージョンのみがサポートされます。

- Debian 6~9.4
- Ubuntu 10.04~18.04
- CentOS/RHEL 6~7.5
- Oracle Linux 6 UEK R1~7 R4 U7
- Fedora 23~28
- Oracle Linux(RHCK) 6~7.5
- openSUSE 11.3~13.2
- openSUSE Leap 42.2-42.3, Leap15
- SLES 11 SP4 ~ 12 SP3
- SLES for SAP 11 SP4 - 12SP3

ファイルシステム

- Ext 2/3/4, F2FS, FAT16, FAT32, HFS, HFS+, HFSP, JFS, NILFS2, NTFS, ReiserFS, XFS
※シンプルボリュームまたはLVM2ボリューム上のファイルシステムをサポートしています。
※クラスタノードグループとして使用されるマシンのバックアップはサポートしていません。

ソフトウェア

- 保護対象マシンに事前にインストールされている必要があります。
- dkms, gcc, make, perl, kernel-headers, kernel-devel
※veeamsnapパッケージがインストール可能なCentOS, RHEL, SLESディストリビューションには不要です。
 - Libudev, libacl, libattr, lvm2, libfuse, dmidecode
 - efibootmgr(UEFIの場合), Isolinux(Debianの場合), syslinux(RedHatの場合)